



Waku Waku パソコン学習 【1】

【実践1】理科 授業実践1 動物のたんじょう(5年生)

岐阜県恵那市大井第二小 丸山晴男

パソコンの授業の活用の事例

授業構想の説明

(1)授業を仕組むにあたって

環境学習の一環として、パソコン活用を前面に押し出した授業を仕組んでみた。学習内容は、理科の動物における生命の誕生である。生命誕生に必要な「環境」は何か、どんな環境が必要なのかを課題にし、実際にパソコンを使った調べ学習を実施するのである。

パソコン情報データは、主に、インターネットによる情報とCD-ROMの情報による。インターネットは、1回線をオンライン(接続)とし、後のパソコンは、あらかじめダウンロード(情報を保存)したものを活用することにした。

パソコンについては、6台を活用した。これで、5つのコースすべて、パソコンを活用することが可能になる。

具体的手立て
授業づくり・工夫

(1)コースグループの工夫:自分の調べたいテーマを5つの中から選ぶことで、一人一人の課題にせまる。同じ動物のグループを選択した子ども同士でコースグループを形成する。

(2)インターネット、CD-ROMを中心に調べ学習を進める。

(3)課題:色々なセキツイ動物のたんじょうについて調べよう

動物のたんじょうにはどんな環境が必要か、どのような仕組みや特ちょうがあるかで、環境の視点から考える。

(4)各コースのテーマ

A 魚類:アユ、コイ、サケ、チョウザメ、メダカ、ブルーギル

B 両生類:アシナシイモリ、オオサンショウウオ、ナンベイイモリカエル

C ハチュウ類:ワニ、ヘビ、トカゲ

D 鳥類:ペンギン、インコ、ツバメ、ニワトリ、カッコウ

E ホニユウ類:イロワケイルカ、オオカンガルー、キタリス、パンダ

(5)交流会の方法として、調べ学習 グループ内発表交流会 全体課題解決交流会の2段階の交流会で内容を深めることにした。

(6)各コースグループに、1台のパソコンを配置した。全体で、6台確保した、その内1台はインターネットリアルタイム接続可能とした。



授業の展開

教科 領域	理科	単元名	動物と人のたんじょう	本時の位置	4 / 10
本時の目標	動物が誕生するにはどんな環境が必要か、「各動物グループ」誕生の仕組みや特徴は何かを、さまざまな情報を選択し調べることができる。				
研究との関わり	連続的追究のできる子 本時における表現活動の位置づけ 各個人、コースグループの課題(生命の誕生とその仕組み)について、さまざまな情報を選択し、調べ、画用紙などに視覚的にまとめることで、各自の追究が具体的に連続的な追究が可能になると考える。				

本時の展開 場所:教室

指導 援助

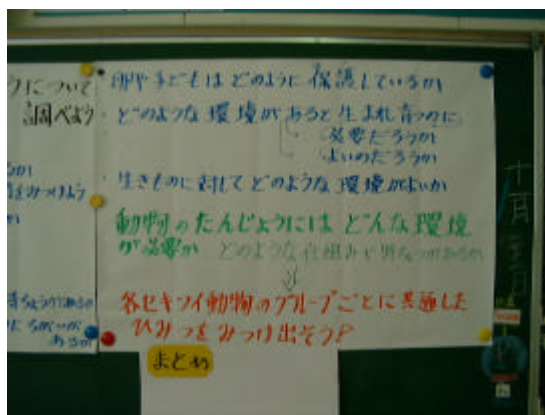
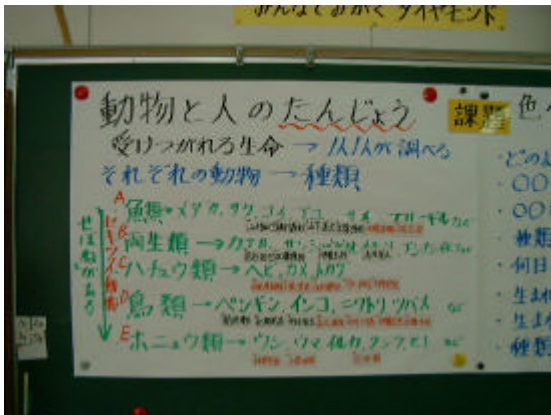
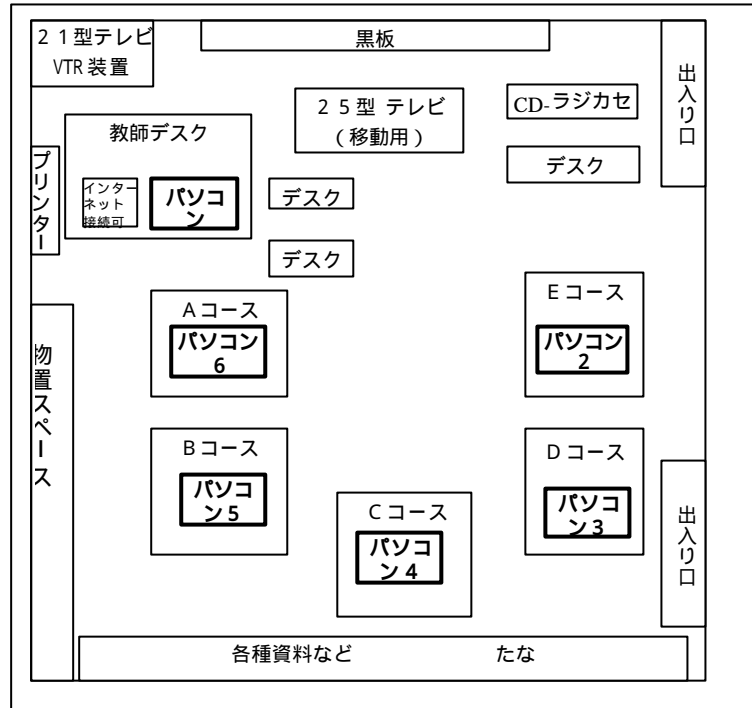
評価





授業実践 (教室でコース別にパソコンを使う場合) (動物の誕生 1)

普通教室のパソコン活用



各コースグループの学習内容 疑問課題



ノートパソコンの
画面を大型
テレビに映す



授業実践 (動物の誕生 2)



情報の共有化 : コースグループで話し合う



ノートパソコンで調べる



ノートパソコンで調べる



各コースグループの学習の様子

【考察と成果】

各コース別にパソコンを活用することにより、それぞれのコースで調べ学習やグループ内発表に有効に活用することができた。

それぞれの目的の動物を一人一人の要求に応じて、パソコン活用し情報提示することができた。

インターネットのリアルタイム検索のほか、あらかじめ作成しておいた、インターネット情報データベースを活用し、調べ学習や発表会に活用することができた。一度作成したデータベースは、安定し、何回も繰り返し見ることができる。情報活用が有効にできた。

パソコン操作が子どもたちの手で行えるようになり、子どもの手によるパソコン活用授業となった。

子どもたち興味関心も高く、CD ROM の画像ソフトなどを意欲的に見て、内容を高めることができた。

情報機器としてのパソコンの活用の授業が日常化し、大变身近なものとなった。

パソコンの画像で、詳しく調べることができた。情報活用能力が高まる。